

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会

令和 2 年度定期総会 議案書

日 時 令和 2 年 6 月 2 8 日（日） 1 7 時 4 5 分より
場 所 奈良県言語聴覚士会 事務所

総 会 次 第

1. 開会宣言

2. 議長選出

3. 議 事

【定期総会】

第 1 号議案 令和元年度事業報告並びに収支決算の報告の件

第 2 号議案 令和 2 年度事業計画並びに収支予算承認の件

4. 議長解任

5. 閉会宣言

定期総会議案

第1号議案 令和元年度事業報告並びに収支決算の報告の件

令和元年度事業報告

1. 令和元年6月16日、令和元年度定期総会を関西学研医療福祉学院で開催した。
総会時に講演会「地域包括ケアにおける言語聴覚士が果たす役割～地域言語聴覚士会の活動を考える～」(日本言語聴覚士協会副会長 内山量史先生)を開催した。
2. 奈良県言語聴覚士会を解散及び清算し、一般社団法人奈良県言語聴覚士会に移行した。
3. 一般社団法人日本言語聴覚士協会 都道府県士会会長会議に参加した。
4. 「なら言語聴覚の日の集い2019」に向けて実行委員会を設置した。
5. 奈良県訪問実務者研修会の企画立案に参加した。
6. 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業に係る会議に参加した。
7. 奈良県歯科医師会主催「いい歯のコンクール」に参加した。
8. 奈良県3士会合同会議を開催した。
9. 奈良県主催「なら介護の日2019」に奈良県3士会合同リハビリ相談ブースを設置した。
10. 自立支援型地域ケア会議の開催・運営に係る市町村研修会に参加した。
11. 奈良県医療推進協議会役員会の会議に参加した。

下記12、13は企画立案のみでCOVID-19感染拡大防止の観点から中止

12. 近畿地区府県士会交流会を企画立案した。(奈良県言語聴覚士会主管)
13. PT・OT・ST 合同ボウリング大会の企画立案に参加した。

14. 以下の会、式典に会長が参加した。

奈良県医師会創立記念式典、奈良県歯科医師会新年互礼会、奈良県脳卒中者友の会
「桜の会」総会・失語症合唱団によるコンサート

15. 専門部局の活動について

事務局

1. 2019年度の新入会員20名の入会事務の他、会員の異動に関する事務処理を行った。
2. 会員名簿を作成した。
3. 運営委員会を4回開催し、議事録を作成、保管した。
4. 各種勉強会の受付事務を行った。
5. 懇親会兼新人歓迎会、忘年会を開催した。
6. 「奈良県言語聴覚士会ニュース」を発行した。

7. ホームページの内容を随時更新した。
8. 他県士会、他団体の会報などを管理した。
9. 会員への諸連絡その他の事務処理を行った。

財務局

1. 年会費の出納を行った。
2. 県士会活動費の出納を行った。
3. 会計に関する事務を行った。

学術局

1. 特別講演会を開催した。
2019 年 6 月 16 日（日） 場所：関西学研医療福祉学院
講師：内山 量史 先生（一般社団法人 日本言語聴覚士協会 副会長）
特別講演「地域包括ケアにおける言語聴覚士が果たす役割
～地域言語聴覚士会の活動を考える～」 参加人数：92 名
2. 第 15 回症例検討会を開催した。
2019 年 12 月 1 日（日）
重森 香織 先生(高井病院)
※研修会「嚥下障害の評価」（学術局）
参加人数：30 名
3. 近畿地区府県士会交流会、特別講演会の開催準備をした。
2020 年 3 月 1 日（日）
講師：稲本 陽子 先生（藤田医科大学 保健衛生学部教授）
特別講演「根拠のある摂食嚥下リハビリテーションの遂行」
参加応募人数：68 名
※COVID-19 感染拡大防止の観点から 3 日前に中止決定
4. 定例勉強会を 3 回開催した。

地域包括ケアシステム推進委員会

1. 委員会を 3 回開催した。
2. 訪問言語聴覚士所在一覧を作成した。
3. 研修会を 2 回開催した。
2019 年 6 月 7 日（金）
「訪問リハビリテーションの現状と未来」 参加人数：20 名
2019 年 9 月 27 日（金）
「情報共有 ～他職種が欲しい情報～」 参加人数：16 名

法人化検討委員会

1. 委員会を開催した。
2. 一般社団法人奈良県言語聴覚士会定款を電磁媒体に記録し、事務所に保管した。
3. 日本言語聴覚士協会の情報誌「STANDUP」に法人化に関しての投稿依頼を受け、文書及び写真が掲載された。

言語聴覚の日の集い実行委員会

1. 委員会を開催した。
2. 「なら言語聴覚の日 2019」活動を実施した。
2019 年 10 月 28 日（月）場所：大和郡山市のコミュニティセンター、集会所
介護予防活動「いきいき 100 歳体操」に参加されていた 40 名に対し、言語聴覚士の啓発活動を実施。
活動内容：・新たに制作した言語聴覚士を紹介したチラシの配布
・言語聴覚士の認知度調査
・嚥下体操等の指導

失語症者向け意思疎通支援者養成事業準備委員会

1. 委員会を 13 回開催した。
2. 会員向けに「失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業」の説明会を開催した。
2019 年 4 月 17 日（水）
「失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業」の説明 参加人数：27 名
3. 「意思疎通支援者養成講座」講師の養成を目的に研修会を 4 回シリーズで開催した。
①「失語症概論」「失語症のある人との日常生活とニーズ」（6 月）
②「意思疎通支援者とは何か」「意思疎通支援者の心構えと倫理」（8 月）
③「コミュニケーション支援技法」（10 月）
④「外出同行支援」（12 月）
4. 「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修」に参加した。
2019 年 10 月 26 日～27 日 場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター（東京都新宿区）
5. 「失語症者向け意思疎通支援者養成講座」のお試し講座を開催した。
2020 年 2 月 16 日（日）場所：関西学研医療福祉学院 7 階講堂
参加人数：37 名（一般参加：19 名、会員：18 名）
・失語症者向け意思疎通支援事業の概要説明
・失語症概論・接し方の〇×
・失語症者の声「地域生活での困り事」
※奈良県脳卒中者友の会『桜の会』様にご協力いただきました。
6. 奈良県障害福祉課担当者からの問い合わせに対応した。

令和2年4月1日

2019年度決算報告

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会

収入の部

費目	当期予算	当期決算	備考
会費収入	582,000	614,000	
正・準会員	572,000	604,000	4000円×151件（未収会費を含む）
賛助会員（団体）	10,000	10,000	10000円×1社
事業収入	0	0	
参加費等	0	0	
その他の収入	50,000	120,014	
	50,000	20,010	日本言語聴覚士協会（活動支援金）
		100,000	サフラン会（活動支援金）
		4	利息
寄付金	1,374,478	1,430,478	
任意団体からの寄付金収入	1,374,478	1,430,478	
前年度繰越金	0	0	
収入合計	2,006,478	2,164,492	

支出の部

費目	当期予算	当期決算	備考
事業費	100,000	38,748	贈礼、交通費、看板コピー代など
委員会活動	220,000	97,525	訪問リハ・地域リーダー会議、言語聴覚の日の集い準備委 失語症者向け意思疎通支援者養成事業準備委員会など
管理費			
総会開催費	30,000	52,187	
旅費交通費	150,000	27,169	
渉外費	50,000	40,000	
事務費	50,000	39,874	
会報発行費	30,000	18,246	
一般社団法人化費	200,000	121,990	
他団体関係費	100,000	10,010	近畿地区府県士会交流会、特別講演会開催中止
支出合計	930,000	445,749	
次年度繰越金	1,076,478	1,718,743	

以上報告いたします。

一般社団法人奈良県言語聴覚士会 財務局 霜村智一



監査の結果、上記の報告に相違ありません。

一般社団法人奈良県言語聴覚士会 監査役 小西一晃



松下真一郎



貸 借 対 照 表

令和 2 年 3 月 31 日現在

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	1,547,543	0	1,547,543
未収会費	140,000	0	140,000
未収入金	31,200		
流動資産合計	1,718,743	0	1,687,543
2. 固定資産			
(1) 特定資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
(2) その他固定資産	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	1,718,743	0	1,718,743
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
1. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	1,718,743	0	1,718,743
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	1,718,743	0	1,718,743
負債及び正味財産合計	1,718,743	0	1,718,743

財 産 目 録

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許現金	運転資金として	192,827
預金	住信SBIネット銀行	運転資金として	1,354,716
未収会費	各会員	平成31年度までの未収会費	140,000
未収入金	奈良市	会場費用返金分	31,200
流動資産合計			1,718,743
(固定資産)			
固定資産合計			0
資産合計			1,718,743
(流動負債)			
流動負債合計			0
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			1,718,743

収 支 計 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日

科 目	予算額	決算額	比較増減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
寄付金収入	1,374,478	1,430,478	56,000
会費収入	582,000	614,000	32,000
補助金収入	50,000	120,010	70,010
雑収入	0	4	4
事業活動収入計	2,006,478	2,164,492	158,014
2. 事業活動支出			
事業費支出	320,000	131,302	△ 188,698
会議費支出	0	0	0
旅費交通費支出	0	50,160	50,160
通信費支出	0	4,146	4,146
事務用品費支出	0	5,116	5,116
諸謝金支出	0	48,000	48,000
支払手数料支出	0	0	0
印刷コピー費支出	0	23,880	23,880
管理費支出	610,000	314,447	△ 295,553
交際費支出	0	40,000	40,000
会議費支出	0	29,337	29,337
旅費交通費支出	0	32,349	32,349
通信費支出	0	43,622	43,622
印刷コピー費支出	0	19,184	19,184
事務用品費支出	0	17,255	17,255
支払手数料支出	0	1,566	1,566
租税公課支出	0	8,034	8,034
法人創立費支出	200,000	113,090	△ 86,910
他団体関係支出	100,000	10,010	△ 89,990
事業活動支出計	930,000	445,749	△ 484,251
事業活動収支差額	1,076,478	1,718,743	642,265
II. 予備費支出			
当期収支差額	1,076,478	1,718,743	642,265
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	1,076,478	1,718,743	642,265

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日

科 目	本年度	前年度	比較増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	1,430,478		1,430,478
受取会費	614,000		614,000
受取補助金	120,010		120,010
雑収益	4		4
経常収益計	2,164,492	0	2,164,492
(2) 経常費用			
事業費	131,302	0	131,302
会議費	0		0
旅費交通費	50,160		50,160
通信費	4,146		4,146
事務用品費	5,116		5,116
諸謝金	48,000		48,000
支払手数料	0		0
印刷コピー費	23,880		23,880
管理費	314,447	0	314,447
交際費	40,000		40,000
会議費	29,337		29,337
旅費交通費	32,349		32,349
通信費	43,622		43,622
印刷コピー費	19,184		19,184
事務用品費	17,255		17,255
支払手数料	1,566		1,566
租税公課	8,034		8,034
法人創立費	113,090		113,090
他団体関係費	10,010		10,010
雑費			0
経常費用計	445,749	0	445,749
当期経常増減額	1,718,743	0	1,718,743
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,718,743	0	1,718,743
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	1,718,743	0	1,718,743
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	1,718,743	0	1,718,743

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

税込方式を採用している。

付属明細書

1. 該当事項なし

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、手許現金、現金預金、未収会費、前払費用、短期借入金、未払金、未払法人税等、前受会費、預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
手許現金	0	192,827
現金預金	0	1,354,716
未収会費	0	140,000
前払費用	0	0
その他資産	0	31,200
合 計	0	1,718,743
短期借入金	0	0
未 払 金	0	0
未払法人税等	0	0
前受会費	0	0
預 り 金	0	0
合 計	0	0
次期繰越収支差額	0	1,718,743

監査報告書

一般社団法人奈良県言語聴覚士会

会長 道上千智 殿

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、事業報告及び計算関係書類に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

（2）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 2 年 5 月 1 日

一般社団法人奈良県言語聴覚士会

監事 小西一晃

監事 松下真一郎



第2号議案 令和2年度事業計画並びに収支予算承認の件

令和2年度事業計画

1. 近畿地区府県士会交流会を開催する。(奈良県言語聴覚士会主管)
2. 学術講演会をはじめ研修会、勉強会など学術活動の充実に努める。
3. 職能組織として会員に情報を伝え、会員間の交流や連携を支援する。
4. 一般社団法人日本言語聴覚士協会と連携し、活動する。
5. 各委員会活動の自主性を尊重しつつ、充実のための支援を行う。
6. 関連団体との連携・協力を行う。
7. 行政や報道機関等に要望や提言を行う。
8. 専門部局の活動について

事務局

1. 会員の入会及び異動に関する事務を行う。
2. 運営委員会の議事録を作成する。
3. 行政や関連団体等と連携・協力を行う上で必要な連絡・調整などの実務を担当する。
4. 行政、関連団体、業者などからの問い合わせに対応する。
5. 「奈良県言語聴覚士会ニュース」を発行する。
6. ホームページの管理を行い、内容の充実に努める。

財務局

1. 年会費の出納を行う。
2. 県士会活動費の出納を行う。
3. 会計に関する事務を行う。

社会局

1. 「言語聴覚の日」のイベントなどの広報活動に関して企画運営を行う。
2. 訪問リハ・地域リーダー会議に出席し、情報を収集・発信する。
3. 会員間の職能連携がスムーズに進むように交流会を開催する。

学術局 (web 開催の検討)

1. 第16回症例検討会を開催する。
2. 生涯学習プログラム基礎講座を開催する。
3. 定例勉強会を開催する。

地域包括ケアシステム推進委員会

1. 研修会を開催する。
2. 行政(地域包括ケア推進室等)、関連団体などからの問い合わせに対応する。

規定整備委員会

1. 内規の整備に努める。
2. 規約の見直しを随時行う。

失語症者向け意思疎通支援者養成事業準備委員会

1. 「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成事業」推進のための助言を行う。
2. 「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修」に参加する。
3. 研修会を開催する。
4. 行政(奈良県障害福祉課等)、関連団体などからの問い合わせに対応する。

令和2年度収支予算

2020年度予算案

一般社団法人 奈良県言語聴覚士会

収入の部

費目	2020年度	2019年度	増減	備考
会費収入	618,000	582,000	36,000	
正・準会員	608,000	572,000	36,000	4000円×152人分
賛助会員	10,000	10,000	0	10000円×1社
事業収入 参加費等	0	0	0	
	0	0	0	
	0	0	0	
その他の収入	50,000	50,000	0	
	50,000	50,000	0	日本言語聴覚士協会（活動支援補助金）
	0	0	0	
	0	0	0	
任意団体からの寄付金収入	0	1,374,478	△ 1,374,478	
前年度繰越金	1,718,743	0	1,718,743	
収入合計	2,386,743	2,006,478	380,265	

支出の部

費目	2020年度	2019年度	増減	備考
事業費 学術活動	100,000	100,000	0	謝礼、交通費、施設使用料など
委員会活動	220,000	220,000	0	言語聴覚の日実行委員会など
			0	
管理費 総会開催費	50,000	30,000	20,000	会場設営費など
会議費	50,000	0	50,000	
旅費交通費	60,000	150,000	△ 90,000	交通費・宿泊費など
渉外費	60,000	50,000	10,000	お祝い、POSボウリング大会費など
事務費	60,000	50,000	10,000	文具、送料、郵費、インターネット代など
会報発行費	30,000	30,000	0	ニュース発行費
一般社団法人化費	0	200,000	△ 200,000	審議料、専門家への問い合わせ料など
災害対策研修費	30,000	0	30,000	
他団体関係費	50,000	100,000	△ 50,000	近畿地区府県士会代表者会議
予備費	1,676,743	1,076,478	600,265	
支出合計	2,386,743	2,006,478	380,265	

以上、提案いたします。

収 支 予 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
受取寄付金収入	0	1,374,478	△ 1,374,478
受取会費収入	618,000	582,000	36,000
受取補助金収入	50,000	50,000	0
雑収入			0
事業活動収入計	668,000	2,006,478	△ 1,338,478
2. 事業活動支出			
事業費支出	320,000	320,000	0
会議費支出	40,000	0	40,000
旅費交通費支出	100,000	0	100,000
通信費支出	10,000	0	10,000
事務用品費支出	30,000	0	30,000
諸謝金支出	100,000	0	100,000
支払手数料支出	10,000	0	10,000
印刷コピー費支出	30,000	0	30,000
管理費支出	390,000	610,000	△ 220,000
交際費支出	60,000	0	60,000
会議費支出	50,000	0	50,000
旅費交通費支出	60,000	0	60,000
通信費支出	50,000	0	50,000
印刷コピー費支出	20,000	0	20,000
事務用品費支出	40,000	0	40,000
支払手数料支出	10,000	0	10,000
租税公課支出	20,000	0	20,000
法人創立費支出	0	200,000	△ 200,000
災害対策研修費	30,000	0	
他団体関係支出	50,000	100,000	△ 50,000
事業活動支出計	710,000	930,000	△ 220,000
事業活動収支差額	△ 42,000	1,076,478	△ 1,118,478
II. 予備費支出			
当期収支差額	△ 42,000	1,076,478	△ 1,118,478
前期繰越収支差額	1,718,743	0	1,718,743
次期繰越収支差額	1,676,743	1,076,478	600,265